科目名	国際金融論	科目分類	■専門科目群　□総合科目群 経済学科　□必修　■選択 学科　□必修　□選択
英文表記	International　Finance	開講年次	□１年 □２年 ■３年 □４年
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
ふりがな	ふかさわ　やすお	実務家教員担当科目	修得単位　２単位
担当者名	深澤　泰郎	実施方法	■対面のみ　□遠隔のみ □対面・遠隔併用
授業のテーマ	リーマンショックで、金融面で世界がグローバル化したことを実感し、今回のコロナショックで、モノのグローバル化とヒトのグローバル化も検証されたと思います。国際金融制度、外国為替相場の仕組みとその決定理論、国際金融システムを理解します。		
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 １．国際金融システムを理解することによって、世界の経済情勢がより鮮明に理解できるとともに、将来の経済、市場についての予想能力が高まる。 ２．日本経済新聞の国際関係の記事の理解度が、大幅に上昇し、社会人として求められる水準に届く。		
授業概要	受講者数にも左右されるが、理想としては、事前にポータルサイトに掲示された資料等に目を通してもらい、授業中には可能な限り、各項目についての質問を行う。 経済指標等のデータに基づき理論を確認し、その上で自ら考える姿勢を身につけてもらいたい。		

授業計画	**(授業においてポータルサイトに掲示された資料は、すべて試験の範囲に含まれる)**
第１回	イントロダクション　世界情勢と全体の概観　掲示資料
第２回	国際収支表の見方と国際収支の恒等式　掲示資料
第３回	ＢＰ曲線と金融収支　金融収支と資金の流出入、資産・負債の増減の関係　掲示資料
第４回	スポット為替レートと先物為替レート　金利裁定式　ベーシスコスト　掲示資料
第５回	為替レートの決定理論　ビッグマック指数と購買力平価説（１）　掲示資料
第６回	為替レートの決定理論　ビッグマック指数と購買力平価説（２）　掲示資料
第７回	相対的購買力平価式
第８回	中間レポート
第９回	中間レポート　回答と解説
第 10 回	マンデルフレミングモデル（１）　モデルのフレームワークと国際金融のトリレンマ　掲示資料
第 11 回	マンデルフレミングモデル（２）　財政政策と金融政策の効果　掲示資料
第 12 回	世界金融危機　リーマンショックの本質　ＣＤＯ組成の仕組み　掲示資料
第 13 回	比較生産費の理論　絶対優位と比較優位　掲示資料
第 14 回	新しい国際金融規制　自己資本比率（BIS）規制と G-SIBs　掲示資料
第 15 回	通貨統合とユーロ　ターゲットの仕組みとユーロシステムの矛盾　掲示資料
第 16 回	定期試験（持ち込み不可）、期末レポート（持ち込み可）

授業時間外の学習	事前に資料をポータルサイトに掲示しますので、該当箇所は事前に通読して疑問点があれば質問すること（0.5～1 時間）。　確認のための復習をすること（0.5～1 時間）。
履修条件 受講のルール パソコン使用	**欠席した場合は、ポータルサイトの資料を確認して下さい。** 原則として「欧米経済論」を履修済みのこと。なお、受講者の理解度によっては、シラバスを変更する場合があります。 **受講者はかならずパソコンを持参すること。資料はポータルサイトに掲示します。また授業でパ**

について	ソコンを使用して、経済データの分析、グラフ作成を行う場合があります。 ***なお、長文の資料等については、正しい理解ためにはプリントアウトが必要な場合があります。そのコストは自己負担となりますが、適宜判断して下さい。***
テキスト	ポータルサイトに掲示する資料
参考文献・資料	「国際金融論をつかむ」橋本優子ほか２名　有斐閣 「円安待望論の罠」野口悠紀雄　日本経済新聞社　第７章　国際通貨制度の変遷 金利動向４追加資料「円安と株高の矛盾」深澤泰郎、 その他、授業前にポータルサイトに掲示する資料
成績評価の方法	中間テスト(40%)、定期試験（10%)、期末テスト（40%)、その他（10%) 中間・期末テストは、長文の記述となる（学生個人の考えを求める場合がある)。 出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	火曜日　13:00～14;30　14:40～16:10 金曜日　13:00～14:30　14:40～16:10
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	日本では、チョコレート等の日常品、輸入車、輸入各具等の輸入製品があふれています。また、観光地には多くの外国人観光客を見かけます（コロナ以降、復活していますね)。 これらの人、モノ、サービスの海外との取引の基本が国際金融です。また、国際金融の理解なくしては、ビジネスは遂行できません。就職後にそのことを実感すると思います。